

陸上自衛隊第14旅団広報誌



Vol. 199

新年号



謹賀新年

今年も幸多き年でありますよう

心よりお祈りいたします

令和八年 元旦



第14旅団長
陸将補 仲西勝典

明けましておめでとございます。

皆様におかれましては、令和八年の新春を清々しくお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。日頃より第十四旅団の活動に格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。国際情勢は、米中の戦略競争を軸とした国家間の分断が加速・継続し、国際的枠組みによる世界秩序の維持が困難になる中、インド太平洋地域は様々な安全保障上の課題が存在し、我が国は、戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しています。周辺各国においてはミサイル開発等を含む軍事増強が急激に進められ、力による一方的な現状変更の圧力がかつてないほどに高まるとともに、宇宙・サイバー・電磁波等への新たな領域における脅威が顕在化し、これらの脅威への対応が求められるなど、多様化・複雑化する安全保障環境下において自衛隊に求められる役割は一層重要性を増しています。

国内に目を転じれば、新内閣の発足により、国家安全保障戦略などの三文書について、令和八年中に改定する方針であり、防衛力の変革に係る各種検討が一層加速する見通しです。また、南海トラフ地震等の大規模地震は、いつ起きてもおかしくなく、さらに気候変動の影響を受けて激甚化・頻発化する風水害や、各地で活発化する火山活動が、大規模な自然災害につながる可能性があります。

このような中、防衛省・自衛隊が進める防衛力の抜本的な強化に係る取り組みの具現化は急務の課題です。そのため、我々第十四旅団は、「すべての隊務を実任務に通用する可否か」を物事の判断尺度として、「すべては実任務のために」という信念のもと、平素から本質を追求した実践的な訓練と即応態勢の維持に努め、「令和七年度旅団演習」を行い、第十四旅団の一連の行動を演練し、その実力を着実に向上させていきます。

また、昨年三月に発生した愛媛県今治市での山林火災及び八月の徳島県板野町での林野火災に対し、関係機関と緊密に連携した災害派遣活動を実施しました。更に、南海トラフ地震をはじめとする大規模自然災害への備えを強化し、いかなる事態にも迅速かつ的確に対応するため、各種防災訓練を通じて、災害対処能力の実効性向上を図るほか、国や四国四県等と連携して「四国の守り」に万全を期す所存です。

四国の防衛・警備、災害派遣のほか、機動旅団として我が国に脅威が及ぶ場合には、迅速に展開して任務を遂行する我々第十四旅団は、地域の皆様から信頼され、国民の負託に応えられる強い部隊でなければなりません。

服務の本旨において「事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に務める」ことを宣誓しており、これが我々の原点です。原点に立ち返り、この言葉の意味を深く心に刻み、隊員一人ひとりが使命を自覚するとともに、「すべては実任務のために」を合言葉に、いかなる事態にも即応し、与えられた責務を完遂すべく全身全霊で日々の隊務に取り組んでまいります。併せて、隊員一人ひとりが互いを尊重し、安心して力を発揮できる職場環境を築くため、「和と風通し」を大切に、現場の声に耳を傾け、結束力のある部隊を目指してまいります。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げますとともに、旅団に対し変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって実り多き一年となりますことを心より祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



徳島県知事 後藤田正純



新年明けましておめでとうございます。

令和八年の年頭に当たり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

陸上自衛隊第十四旅団の皆様におかれましては、我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つという使命を果たすため、強い覚悟と責任感をもって崇高な任務に日夜精励されていることに、心から敬意と感謝の意を表します。

さて、近年、ロシアによるウクライナ侵攻や中国の南シナ海における力による一方的な現状変更、北朝鮮の核・ミサイル開発の進展など、国際秩序を脅かす事象が継続しており、安全保障環境は、戦後最も厳しく複雑なものとなっております。

このような厳しい国際情勢において、国防の要である自衛隊の皆様への役割はますます重要なものとなっております。

また、いつ起こってもおかしくない「南海トラフ巨大地震」をはじめ、近年、地球温暖化の影響により激甚化・頻発化している台風や集中豪雨など、大規模災害への備えが喫緊の課題となっております。

加えて、昨年三月に発生した愛媛県今治市の林野火災や十一月に発生した大分県大分市佐賀関の大規模火災など、自治体のみでは対処できない事態も発生しており、そのようなときには自衛隊の力を頼るほかありません。

本県におきましても、昨年八月に発生した板野町での林野火災においては、一週間にわたる、第十四旅団をはじめ陸上自衛隊の皆様の大変な御協力により、延焼の拡大を抑え鎮圧に向け、多大な御尽力をいただきました。改めて、深く感謝の意を表する次第であります。

いざ発災という時に被害を最小限に留め、大切な県民の生命や財産を守るためには、自衛隊の皆様への御支援、御協力が不可欠であります。このため、平時から県総合防災訓練や「南海レスキュー」と連携した県災害対策本部訓練（CPX）等を通じて、引き続き皆様との連携強化を図って参りたいと考えておりますので、今後とも、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、陸上自衛隊第十四旅団のますますの御発展と、皆様の御健勝、御多幸を心から祈念いたしました。新年の御挨拶とさせていただきます。



愛媛県知事 中村 時広



明けましておめでとうございます。

令和八年の年頭に当たり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

陸上自衛隊第十四旅団の皆様におかれましては、国民の生命と財産を守り、国家の存立を維持するという国民の負託にこたえるため、日夜、国防という崇高かつ極めて困難な任務に精励されており、深甚なる敬意と感謝の意を表します。

とりわけ、平成以降で県内最大規模の燃損面積が生じた昨年三月の今治市林野火災におきましては、本県からの災害派遣要請に応じて大型ヘリ等を迅速に派遣いただき、消火活動の実施と早期の火勢鎮圧に多大な御貢献を賜りましたことに、改めて厚くお礼申し上げます。

御案内のとおり、ロシアによるウクライナ侵略をはじめとする軍事的動向が深刻な懸念となるなど、我が国を取り巻く安全保障環境は、戦後、最も厳しく複雑なものとなっております。

更に、近年、地震や台風、集中豪雨などの大規模自然災害が頻発しており、県民の安全・安心を守るため、危機管理体制の一層の充実が求められております。

このため、本県では、能登半島地震への対応をふまえ、県と二十市町の共同調達による被災者支援連携システムのクラウド型への移行をはじめ、被災者支援の効率化・迅速化を図るための被害認定調査における画像判定の導入、罹災証明書の電子申請対応等を進めるほか、大規模な林野火災の発生を防止するため、昨年五月には本県独自の「愛媛県林野火災アラート」を新設したところです。

加えて、今年度は、自衛隊の皆様にも御協力いただき、十年ぶりに国との共催による原子力総合防災訓練を実施するなど、四国で唯一の原発立地県として、原子力防災対策の更なる強化を図っております。

このように、防災・減災対策の推進に全力を傾けているところですが、発災時に一人でも多くの県民の皆様への命を守るためには、自衛隊の方々の御支援が不可欠でございます。

どうか皆様におかれましては、引き続き、地域に愛される四国の郷土部隊として、住民が安全・安心に暮らせる「愛顔（えがお）あふれる愛媛県」の実現にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、陸上自衛隊第十四旅団のますますの御発展、並びに皆様方の今年一年の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げます。



香川県知事
池田 豊人



新年明けましておめでとうございます。

令和八年の年頭に当たり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。陸上自衛隊第十四旅団の皆様には、我が国を取り巻く安全保障環境が、年々厳しさを増している中、国の平和と安全を守る任務に日夜精励され、また、自然災害や林野火災に係る災害派遣など、住民生活の安定と地域の安全・安心に多大な貢献をされておりますことに、心から敬意と感謝の意を表します。

香川県におきましても、各種の防災訓練などに格別のご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

近年、台風や線状降水帯による記録的大雨により甚大な被害が頻発しているほか、南海トラフ地震の発生も懸念されています。

こうした中、本県では、過去の災害経験から得られた教訓を基に、インフラ等のハード面での地震・津波対策を着実に進めるほか、各種の災害対応訓練の実施や、シェイクアウトの全県実施、防災教育の推進、備蓄物資の整備、次期防災情報システムの構築など、ソフト面での対策も進めているところであります。

このような対策を進めていくうえで、災害発生時や有事の際に、危険を顧みず、住民保護や国防のために献身的に活動される自衛隊をはじめ、防災関係機関との連携強化が、何より重要なことと考えております。

どうか、皆様方には、引き続き自衛隊の任務遂行にご尽力いただきまして、すべての県民の皆様が、生涯のあらゆる段階で活躍し、人生の豊かさと幸せを実感しながら安心して暮らすことができる「人生百年時代のフロンティア県」の実現に、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本年が、災害や事故のない、平穏な年になりますようお願いいたしますとともに、高度な即応性と機動性を備えた第十四旅団がますます発展されること、並びに隊員の皆様、ご家族の皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈りいたします。



高知県知事
濱田 省司



新年明けましておめでとうございます。

令和八年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。陸上自衛隊第十四旅団の皆様におかれましては、我が国の平和と国民の生命・財産を守るため、日夜、国土防衛や災害対応の任務にあたられておりますことに、心から敬意を表します。

特に近年では、中国が軍事力を急速に強化し、尖閣諸島周辺を含む東シナ海や太平洋などでの活動を活発化させ、また、北朝鮮は大量破壊兵器や弾道ミサイルなどの増強に取り組み、弾道ミサイルなどの発射を強行するなど、我が国を取り巻く安全保障環境は戦後最も厳しく複雑なものとなっております。こうした中、国防を担う自衛隊の皆さまの役割は、ますます重要になってきております。

また、昨年発生した愛媛県や徳島県の山林火災では、空中消火などの災害対応活動を実施されるなど、国民の皆さまからの自衛隊への信頼と期待は、一層高まっております。

高知県におきましても、日頃から県の総合防災訓練などの様々な防災訓練にご参加いただくなど、地域の防災対応力の向上に多大なご協力をいただいております。災害に備え互いの顔が見える関係を築く取り組みが着々と進んでいることを、大変心強く感じております。

近年、全国各地で頻発・激甚化している豪雨による災害や、南海トラフ地震による超広域にわたる大規模災害など、本県を取り巻く自然災害のリスクは、これまで以上に高まっております。

このため、本県では、昨年十月に公表した高知県版の南海トラフ地震による最大クラスの震度分布と津波浸水予測を用いて、人的被害や建物被害などの被害想定を算出し、今年度末に公表する予定です。

そのうえで来年度には、この新たな被害想定に基づき、南海トラフ地震対策行動計画をバージョンアップして、新たな課題となる災害関連死対策や避難環境の整備など、被害の軽減に向けた取り組みをさらに強化してまいります。

こうした取組を着実に進めていくため、第十四旅団の皆さまにおかれましては、引き続き、ご支援、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本年が、第十四旅団の隊員、ご家族並びに関係者の皆さまにとって幸多き年となりますとともに、ますますのご健勝、ご活躍を心から祈念いたします。新年のご挨拶とさせていただきます。

自衛隊家族会

隊友会

防衛協会

陸上自衛隊第十四旅団の皆さん、令和八年明けましておめでとうございます。高知県自衛隊家族会の会長
の原と申しますが、仲西勝典旅団長はじめ、隊員の皆様には日頃から大変お世話になっております。
戦後八十年の昨年は世界が大きく動き、我が国においても初の女性総理大臣が誕生し、自衛隊の最高責任
者を女性が務めることとなりましたが、安全保障対策については従前以上に積極的に取り組まれておられる
ように見受けられます。
現在の自衛隊は規律が厳正で能力も高く、国の平和と安全、国民の生命・財産の保護を使命とする組織と
して、国民の多くから尊敬と信頼を勝ち得ているだけでなく、諸外国からも高い評価を受けております。
近年の外交は、戦わずして国の存立を図る抑止力が不可欠であります。そのためには精強な部隊が必要
であり、十四旅団の皆様におかれましては即応機動の専門部隊として、日々、厳しい訓練に励んでいただ
きましておられます。
今後とも仲西旅団長を中核として、旅団一体となって頑張っていたり期待しております。
私どもとしましては、新規隊員の募集をはじめ、自衛隊の活動全般に対して、家族会組織の全力を挙げて
協力をしてまいりますと考えているところであります。
国の平和と独立を守るために、自衛隊とともにある家族会活動を進めてまいりますので、今後どうかや
ろしくお願いいたします。

第十四旅団の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は、四国四県の防衛・警備のため、それ
ぞれの持ち場で職務に精励された隊員皆様に心から感謝申し上げます。
さて、昨年十一月に防衛研究所が「中国安全保障レポート2026」を発表しましたが、その中で『中
国・ロシア・北朝鮮のパートナーシップに関連して、中国・ロシアの戦略的協力が中国の作戦能力の向上を、
ロシアと北朝鮮の接近は北朝鮮の核ミサイル能力の増強をもたらすと警戒感示し、今後、日本・米国・韓国
対中国・ロシア・北朝鮮という陣営の対立の構図が、北東アジアで強まるかもしれない。』という警鐘を鳴
らしており、日本の安全保障環境は、今後より厳しさを増すのではないかと思います。
このような状況の中、二〇二六年、十四旅団の皆様は、新たな目標に向かい、個々の能力向上はもちろん
のこと、部隊として連携をさらに強化し、あらゆる任務に対応できる旅団となることを、心から期待して
おります。
四国四県の隊友会は、国民と自衛隊の懸け橋として、今年も第十四旅団の皆様を応援してまいります。
最後に、今年も十四旅団の皆様が安全に職務を遂行されること、また、隊員皆様に支えられているご家族
の皆様ともども、ご健康で実り多き一年となるよう心よりお祈り申し上げます。
今年も隊友会よろしくお願いたします。

新年明けましておめでとうございます。
陸上自衛隊第十四旅団の皆様におかれましては、令和八年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。
また、昨年、愛媛県今治市及び徳島県板野町で発生した山林火災に対し、迅速な災害派遣活動を実施していただ
き、心より御礼申し上げます。
さて、現下の国際情勢に目を向けますと、令和四年二月に始まったウクライナ侵略戦争の終結が見通せない中、
我が国と国境を接するロシアは中国、北朝鮮との連携を強化しています。また、中国が海洋進出を強化するとも
に、北朝鮮のミサイル発射も断続的に行われており、我が国を取り巻く東アジアの安全保障環境は、一層厳しさを
増しております。
こうした中、第十四旅団では、厳しい訓練を日夜積み重ね、いつ発生するかわからない国土防衛に対する抑止力
や即応能力を強化されるとともに、全国各地で多発する豪雨災害や近い将来の発災が予測される南海トラフ地震な
ど、災害時の住民の安全・安心の確保に万全の備えを構築されております。こうした活動を通じて、自衛隊に対す
る国民の信頼と期待は、年々高まってまいります。
私ども、四国四県の防衛協会は、今後とも、防衛意識の高揚と自衛隊の活動への理解促進に取り組みとともに、
隊友会や家族会と連携して、国内外の様々な場面で活躍される自衛隊に対する支援活動を、積極的に推進して参り
ます。
結びに、本年三月に創隊二十周年を迎える陸上自衛隊第十四旅団の益々のご発展と隊員の皆様のご健勝、ご多幸
を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



自衛隊家族会
四国地域協議会会長
高知県自衛隊家族会会長
原 洋吾



隊友会四国地区担当執行役
愛媛県隊友会会長
小原 友弘



全国防衛協会連合会副会長
四国防衛協会連合会会長
愛媛県防衛協会会長
高橋 祐二



徳島県自衛隊家族会会長
岩野 幸男



徳島県隊友会会長
高木 謙至



香川県防衛協会会長
佐伯 勇人



香川県自衛隊家族会会長
平井 卓也



香川県隊友会会長
林 政夫



徳島県防衛協会会長
近藤 宏章



愛媛県自衛隊家族会会長
森川 建司



高知県隊友会会長
岡 亮



高知県防衛協会会長
山元 文明

徳島地方協力本部



自衛隊徳島地方協力本部長
一等海佐 馬場智也

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、令和八年を穏やかに迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は自衛隊徳島地方協力本部に多大なるご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。心より深く感謝申し上げます。

昨年十二月一日付で横須賀地方総監部防衛部から着任致しました馬場です。出身地である四国において勤務できることを大変嬉しく思っております。

厳しい募集状況の中、昨年は各自治体の記念式典・防災イベント、職場体験学習等において多くの方々にご参加を頂き、募集・広報活動を実施することが出来ましたのは、ひとえに第十四旅団の皆様の平素からのご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、社会では働き方に対する考えが変化していること、また少子高齢化に伴う適齢者人口の減少に伴う熾烈な民間企業との人材獲得競争の中、隊員の募集環境は厳しさを増しております。このような中、防衛力の中核は隊員であり、防衛省自衛隊にとって隊員は大切な『財（たから）』であるという認識のもと、我々は将来の防衛省自衛隊を担っていく優秀な隊員の確保・育成に誠心誠意取り組んでおります。あわせまして、隊員が退職まで安心して任務に専念できるよう再就職を支援するとともに、関係部外団体等との協力関係の強化に努めることで、県民の皆様と防衛省自衛隊との懸け橋になる所存であります。今後とも皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に申し上げますが、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

愛媛地方協力本部



自衛隊愛媛地方協力本部長
一等陸佐 真部 亮太

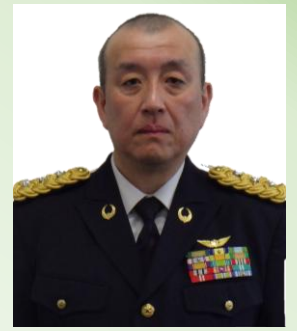
新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は今治・西条市山林火災等の災害派遣対応、戦後もっとも厳しい状況ではあったが、一方で、防衛力の抜本的強化三年目の順調な進捗、コロナ禍前の「顔の見える」各種イベントの定着化、さらにサテライトブースのオープンなど、「自衛官を身近に認知していただく」新たな試みも開始し、部隊・隊員の方々に手厚いご協力をいただいた年となりました。厚く御礼申し上げます。

本年は、防衛力整備の本丸にして永年の課題であった「人」に関する各種改善が具体化する年と認識しております。厳しい募集環境ですが、早速、新年早々に曹候補生及び自候生の採用試験や高等工科学校の採用試験、南海レスキュー訓練及び国・県と連携した就職支援のため多業種説明会の新たな開始並びに海上輸送群の艦艇広報等様々な取組を予定しております。我々愛媛地方協力本部は、本年も皆様と連帯し、工夫し、前向きに任務に邁進する所存です。

本年が皆様にとって益々活気と希望に満ちた年となることを祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

香川地方協力本部



自衛隊香川地方協力本部長
一等陸佐 谷本 秀典

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
旧年中はもとより、平素から防衛省・自衛隊、また自衛隊香川地方協力本部へのご理解とご支援を頂戴しておりますことに深く感謝申し上げます。

我々、香川地本は、地域における連絡協力・広報、自衛官の募集・再就職援護、予備自衛官業務等を任務としており、特に少子化という厳しい募集環境下においても有為な人材を獲得して、防衛省・自衛隊の人的基盤の抜本的強化に貢献することを業務の焦点として活動しております。

このため、日本一魅力的でコンパクトな県に第十四旅団主力が駐屯するという香川県特有の特性を踏まえ、香川地本は以下のサイクルの扇の要として、より強く、より主体的な役割を果たして参りたいと考えております。そのサイクルとは、良質な人材を地域から「募集」し、入隊した人材を部隊による「教育訓練」により更に質の高いものとして、その人材を再就職援護や予備自衛官等により地域社会に「再就職・活躍」していただき、より一層質の高い隊員の募集につなげていくというものです。この「募集」、「教育訓練」、「再就職・活躍」という一連の良好なサイクルは、各自治体や関係団体等を始めとする地域の皆様方のご理解・ご協力があって初めて成り立つものであり、自衛隊香川地方協力本部は第十四旅団と一体となって、長期かつ安定的な人的基盤の強化の一翼を担っていく所存であります。

最後になりますが、この一年が皆様にとりまして充実した一年となりますことを祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

高知地方協力本部



自衛隊高知地方協力本部長
一等陸佐 池戸 雅浩

謹んで新春をお祝い申し上げます。

皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より自衛隊高知地方協力本部の活動に際し、隊員自主募集情報の提供、各種イベントにおける装備品展示や音楽演奏、学校見学等に積極的かつ献身的にご支援ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

さて、我が国が戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面する中で、防衛省・自衛隊は、国民の命と平和な暮らし、我が国の領土・領海・領空を断固として守り抜くため、防衛力の抜本的強化の推進により抑止力、対処力を強化しています。少子化等、自衛官募集が厳しい状況の中、防衛力における人的基盤の強化は極めて重要な取り組みです。すべての地本業務が「募集」に帰結するとの強い認識の下、本年も自衛隊高知地方協力本部は防衛力の中核となる人材の確保のため、人的基盤強化の第一線において募集、援護、広報、国民保護及び予備自衛官業務を部員一同「ONE TEAM」で実施してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、今年も皆さまにとりまして飛躍の一年となりますようご祈念申し上げ、新春の挨拶とさせていただきます。

防衛・警備四国四県隊区担任部隊長



香川県・徳島県隊区長
第15即応機動連隊長
一等陸佐 柿内 慎治

謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては、平素より香川県、徳島県の防衛・警備、災害派遣を担任する第15即応機動連隊に対する深い御理解と御厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、第十五普通科連隊から第十五即応機動連隊に改編されて八周年を迎えた年であり、連隊は、全隊員の弛まぬ努力により防衛・警備、災害派遣及び民生協力等広範多岐にわたる任務を遂行しました。災害派遣においては連隊の災害派遣担任地域である徳島県板野町において、山林火災が発生したことを受け迅速に対応致しました。教育訓練においては、連隊主力が数度にわたる長期間の演習に参加し、「足腰の強い即応機動連隊」へと成長できました。

これも、防衛協会、家族会、隊友会、隊員ご家族及び地域の皆様の連隊に対するご理解とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

さて、残念ながら国際社会の分断は一層深まり、情勢は悪化の一途を辿っております。国内では、南海トラフ巨大地震の発生が懸念されています。このような国内外及び地域の情勢のもと、日々の業務を行う中で自衛隊に対する国民、地域の皆様の期待はますます大きくなっていることを肌で感じております。

本年も、第十五即応機動連隊は、香川県、徳島県の地域の皆様のご期待に応えることができよう、即応対処能力の強化にまい進し、機動旅団の骨幹部隊としての責任を果たすことをお誓い申し上げますとともに、皆様にとって心穏やかな一年になるよう心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶と致します。



高知県隊区長
第50普通科連隊長
兼ねて高知駐屯地司令
一等陸佐 水関 謙作

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えることとお慶び申し上げます。また、旧年中は、第五十普通科連隊及び高知駐屯地に対して多大なるご理解、ご協力及びご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年の第五十普通科連隊を始めとする高知駐屯地所在部隊は、南は九州、北は北海道に至る全国各地で実施された大規模な演習に参加しつつ、その合間を縫って連隊独自の訓練・演習を実施するとともに、自治体及び関係機関の各種防災訓練に参加することによって、いかなる事態にも即応できるよう練度を向上させてまいりました。

幸いにも、高知県内において自衛隊が派遣されるような事態は発生しませんでした。本年も、高知県を担任する部隊として、一時も警戒を怠ることなく、いかなる任務にも即応してこれを必遂できるよう、関係自治体、関係機関、関係団体等の皆様と緊密に連携しつつ、部隊の練度を絶え間なく向上させるとともに、これと並行して各種事態への即応態勢を確立して、地域の皆様に信頼していただくべき部隊であり続けるよう精進する所存です。

引き続き、第五十普通科連隊及び高知駐屯地に対するご理解とご協力をお願いいたします。結びになります。令和八年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



愛媛県隊区長
中部方面特科連隊
第4大隊長
兼ねて松山駐屯地司令
二等陸佐 玉井 慎太郎

謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。また、旧年中は多大なるご理解、ご協力及びご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は戦後八十年を迎えた節目の年であり、松山駐屯地においては、皆様のご期待に応えるべく、県外で実施された大規模な旅団演習に参加しつつ、独自の野営訓練を数度行い、着実に実力を深化させつつ、自治体及び関係機関の各種防災訓練に参加しました。特に、三月、愛媛県今治市において発生した山林火災に伴う災害派遣においては上級部隊、自治体及び関係機関と連携し、不幸中の幸いではありましたが、一人の犠牲者を出すことなく任務を終えることができました。引き続き、各種防災訓練にも積極的に参加し、激甚化する災害に円滑に対応するための計画の実行性を向上させる等、各種事態への備えを万全なものにしていく所存です。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境及び世界平和の既存の秩序は深刻な挑戦を受け、戦後最も厳しく複雑なものとなっております。国内においては物価高騰や高齢化・少子化に歯止めが利かない状況が続いております。このような中、戦略三文書に基づき、防衛力の抜本的強化を実現するためには、優れた人材を安定的に確保し続ける必要があります。自衛官の処遇改善が進められております。

本年も愛媛県隊区担任部隊として、愛媛県の皆様に安心と安全をお届けすることができるよう、そして火力戦闘部隊として能力を最大限に発揮できるように錬磨して参りますので、引き続き皆様の御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。結びになります。令和八年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

明けましておめでとうございます

第14旅団司令部



第二部長
二等陸佐 石澤 昂央



第一部長
二等陸佐 中尾 忠男



旅団最先任上級曹長
准陸尉 西森 正剛



幕僚長
一等陸佐 向田 俊之



第三部長
一等陸佐 鶴川優二郎



総務課長
二等陸佐 乙部 裕治



火力調整部長
一等陸佐 田久保 智



第四部長
二等陸佐 家人 健慈



法務官
三等陸佐 宮本 崇弘

副旅団長兼ねて善通寺駐屯地司令
一等陸佐 岡 一博



医務官
三等陸佐 佐々 瑠花



監察官
二等陸佐 井上 裕策



法務官
三等陸佐 宮本 崇弘



会計課長
三等陸佐 佐藤 廣紀

第14旅団各部隊長



第14飛行隊長兼ねて
北徳島分屯地司令
二等陸佐 齋藤 翔平



第14高射特科隊長
二等陸佐 岩月 賢二



第14情報隊長
二等陸佐 濱田 安彦



第14偵察隊長
二等陸佐 神品 秀雄



第14後方支援隊長
一等陸佐 渡邊 修



第14音楽隊長
一等陸尉 平林 誠



第14旅団司令部付隊長
三等陸佐 玉置 徳和



第14特殊武器防護隊長
三等陸佐 松田 秀司



第14通信隊長兼ねて
通信課長
二等陸佐 脇田 祐一郎



第14施設隊長兼ねて
徳島駐屯地司令及び施設課長
二等陸佐 山北 幸太郎



南海トラフ地震への備え

陸上自衛隊 中部方面隊 災害対処訓練

令和7年度南海レスキュー

07 NANKAI RESCUE

令和8年1月19日～25日

JAPAN GROUND SELF-DEFENSE FORCE MIDDLE ARMY





5つのピースが揃うとき、
新境地へと花ひらく。

令和7年度 第14旅団音楽まつり

PUZZLE

～響き合うかけら～

第1回公演

第2回公演

2026 **2.20**金 | **2.21**土

【自由席】

【全席指定席】

時間 開場 **12:30** / 開演 **13:30** [終演 **15:30**]

場所 **レクザムホール 大ホール**
〒760-0030 香川県高松市玉藻町9-10 (香川県県民ホール)

入場無料

電子チケットは当選者
にのみ送付いたします。

お申し込みはインターネットのみとなります

応募要領

Q 14りよだん 検索

詳しくは、14旅団ホームページで！
2次元コードからもご覧になれます。



応募締切 ▶ 令和8年1月31日(土)

応募にあたっての注意事項

- ・20日(金)は自由席、21日(土)は全席指定席となります。
- ・応募はインターネットからのみとなり、応募者多数の場合は抽選をいたします。
- ・応募は一人1回までといたします。
- ・応募者1名に対し、同伴者の申し込みは1名といたします。
- ・未就学児のご来場は、ご遠慮ください。
- ・最新の情報は第14旅団ウェブサイト内の特設サイトよりご確認ください。



お問い合わせ：第14旅団司令部総務課広報班 TEL(0877)62-2311 内線(2256)



発行所：第14旅団司令部総務課広報班 住所：香川県善通寺市南町2丁目1-1 電話：0877-62-2311（内2256・2257）